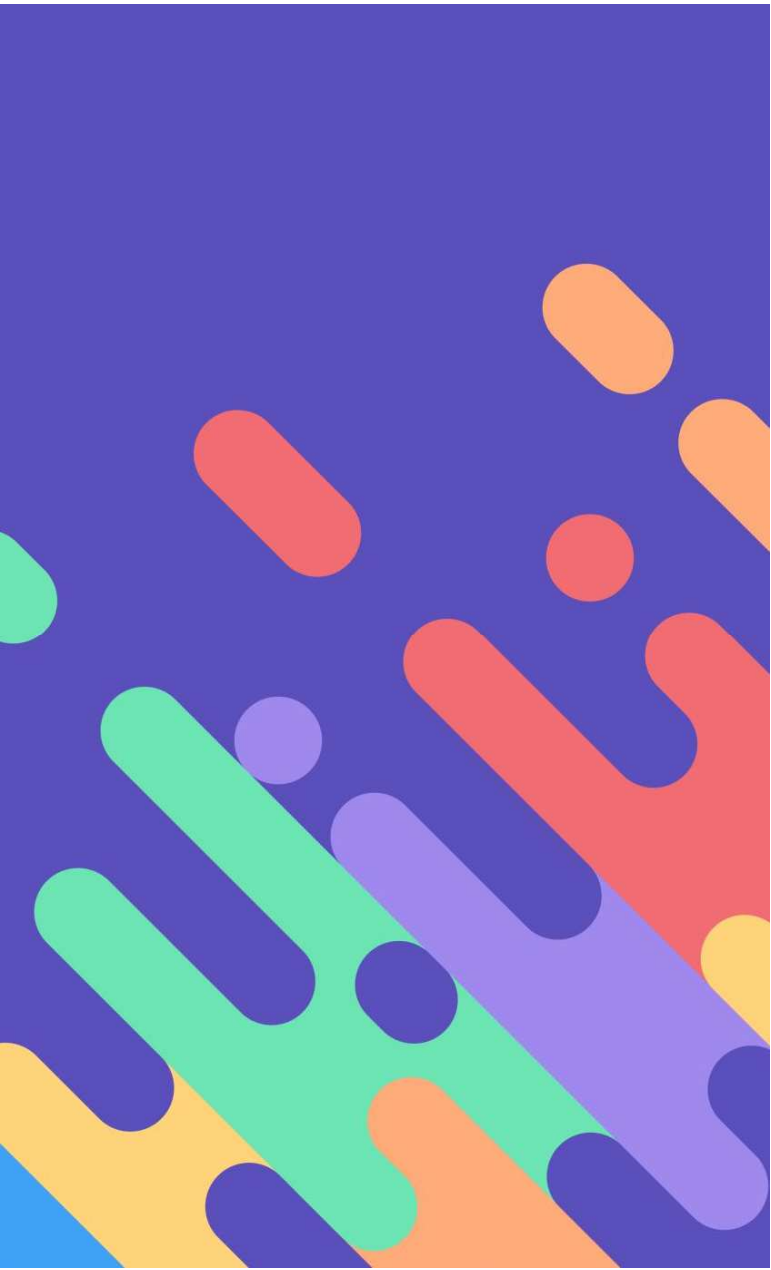




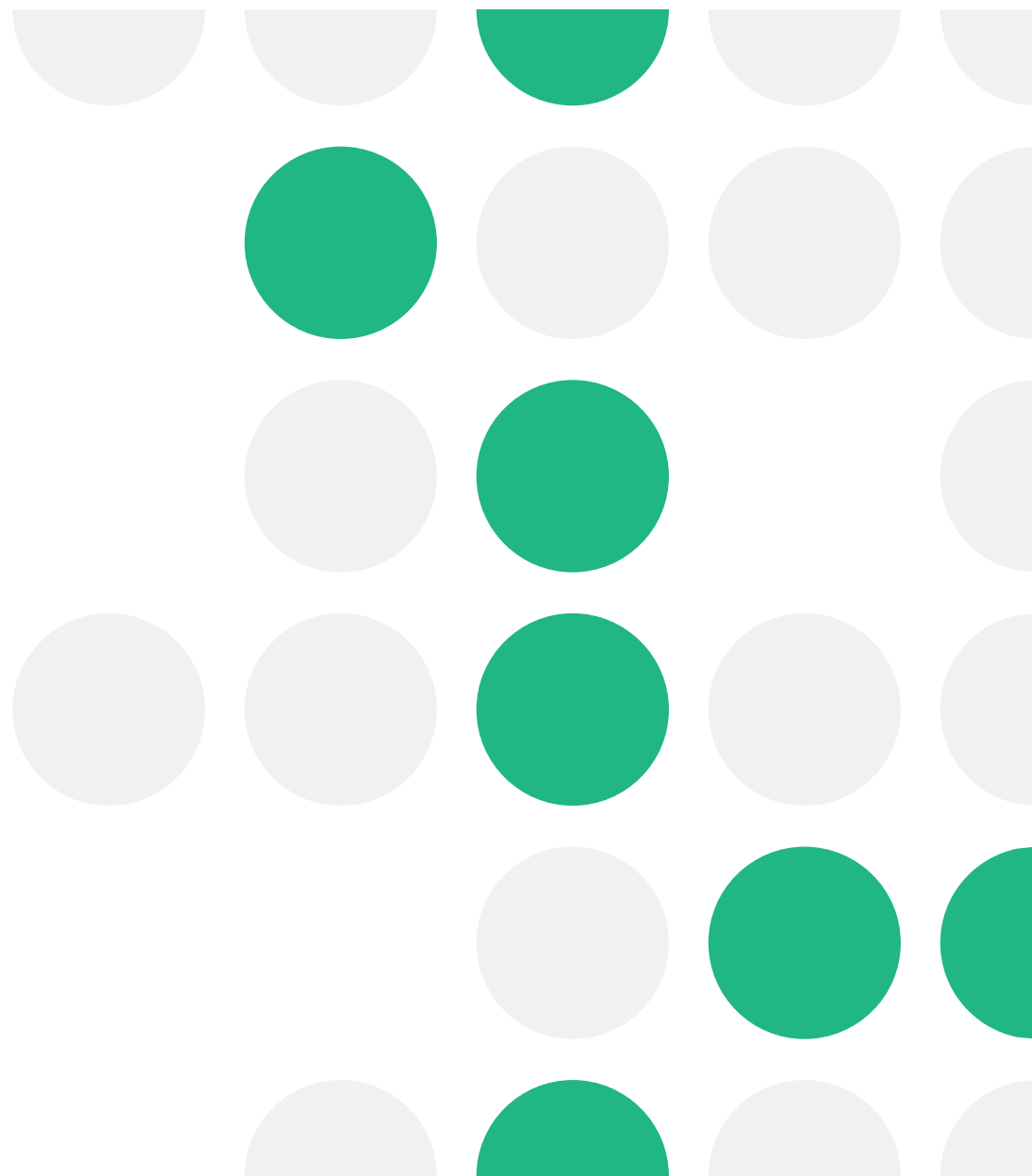
足立区立 西新井小学校 「防災教育2.0」

2024年度 防災教育チャレンジプラン実践団体

最終報告会資料

2025年2月8日（土）

西新井小学校が 目指したかった 防災教育とは？



卒業後も地域の一員としての自覚をもち
災害時に積極的に役割を果たそうとする気持ちをもった児童

その
ために

西新井小「防災教育2.0」チャレンジ

- 1 児童が学習活動の主体となって活躍する防災教育
- 2 児童の学びが無駄にならないよう、保護者も参加
- 3 防災で地域と家庭と児童をつなぐ西新井小学校に

今年度の取り組み

- 1 西新井小サポータークラブ結成
- 2 学校公開日に自治会防災訓練⇒児童参加
- 3 夏休み親子防災キャンプ
- 4 西新井小防災DAY
～児童・保護者一斉避難行動訓練
- 5 防災給食
- 6 防災学習発表会（2・4・6年）
- 7 台湾公立小学校とのオンライン防災学習
- 8 福祉×防災×プログラミング＝？

ふい返ってみたよ！
それにしても
今年一年
色んな取り組みを
したなあ～。



西新井小 サポータークラブ結成

- ・保護者有志による組織
- ・学校行事のサポート
- ・防災活動の運営サポート
- ・夏休み親子防災キャンプの主催



西新井小学校

サポーター クラブ



参加者募集

西新井小学校の応援隊！

自主的活動団体です

不定期参加
OK！

わいわい
楽しく活動

地域との
つながりも

- ≫ 運動会などの学校行事における会場設営や撤収などのサポート
- ≫ 防災訓練における運営のサポート
- ≫ その他西新井小学校の児童を対象としたイベント等の企画やサポート



西新井小学校
サポータークラブ

西新井小学校 担当窓口：今野 までご連絡ください！

TEL 03-3890-5591

2次元コードから簡単に応募できます▶





**学校公開日（6月8日土曜日）に自治会防災訓練
本校児童参加（2年生・5年生）＆保護者見学**

夏休み 親子防災キャンプ

- ・ 8月24日（土）～8月25日（日）実施
 - ・ 西新井小サポータークラブ主催
 - ・ 参加者は、体育館や教室に避難スペースを設営
 - ・ 参加者は「日帰りコース」と「宿泊体験コース」のいずれかを選択
-





非常食を使った 食事体験

- アルファ米（区から提供）
- 長期保存パン

停電時を想定した 夜間校内散歩



西新井小 防災DAY

児童・保護者一斉避難行動訓練
10月5日（土）

足立区立西新井小学校

防災DAY

児童・保護者
一斉避難訓練

避難訓練のための準備と手順

教育チャレンジプラン実践団体



各家庭での事前準備

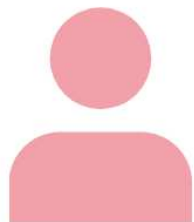
実施日までに必ず準備しておいてください。

1

地震発生時に
家の中で身を守る方法

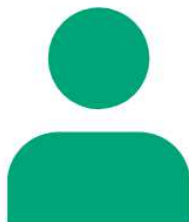
1

落ちてこない



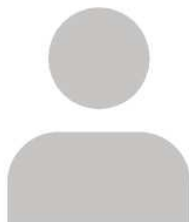
2

倒れてこない



3

移動してこない



2

避難時に持って行く物
(児童・保護者リュック各1つ)

- 水
- 食料
- トイレ
- 衛生用品

etc



無理のない範囲でご用意ください



避難訓練当日の流れ②

避難所（学校）に到着した後は…

到着後

北門から入り
プロムナードで受付



お子さんの教室で
机椅子を移動させます

避難スペース確保

正副リーダー選出

正副リーダー



避難家庭数把握・
話し合いとりまとめ報告

正副リーダー
以外



翌朝までに必要なもの・こと
を考えて話し合いに参加



避難訓練当日の流れ④

当日配布予定物品（各家庭1セット配布予定）

食料品	アルファ米五目ご飯1食
食料品	アルファ米わかめご飯1食
衛生品	簡易トイレ5回分パック



持ち帰るための袋を
用意してください



訓練に際したお願い

お願い



できるだけ保護者の方もご参加ください

児童が欠席する場合はC4thで連絡してください

講演会終了までご参加ください

保護者の方同士の「共助」をお願いします

保護者の皆さまが主体となって進めてください

今回、教職員によるリードはありません



保護者向け講演会
防災ネットワークプラン
井上 浩一 先生

防災DAY関連行事

～防災給食～



防災給食

10/5 (土) 西新井小防災DAY 関連給食

被災した際の
炊き出しを想定し
たメニューです

日にち 10月4日(金)

こんだて 救給カレー すいとん バナナ 牛乳

救給カレーとは



非常食である救給カレーは、平成23年3月の東日本大震災での教訓をもとに考えられたもので、電気・ガス・水道が止まってしまった状況でもそのままおいしく、さらに食物アレルギーがある人も食べられるように作られています。

すいとんとは

具だくさんの汁に、小麦粉で作ったすいとんが入り、炊き出しで作られることが多い料理です。

お問い合わせ

☎ 03-3890-5591 (栄養士: 大塚)
〒123-0845 足立区西新井本町4-9-27

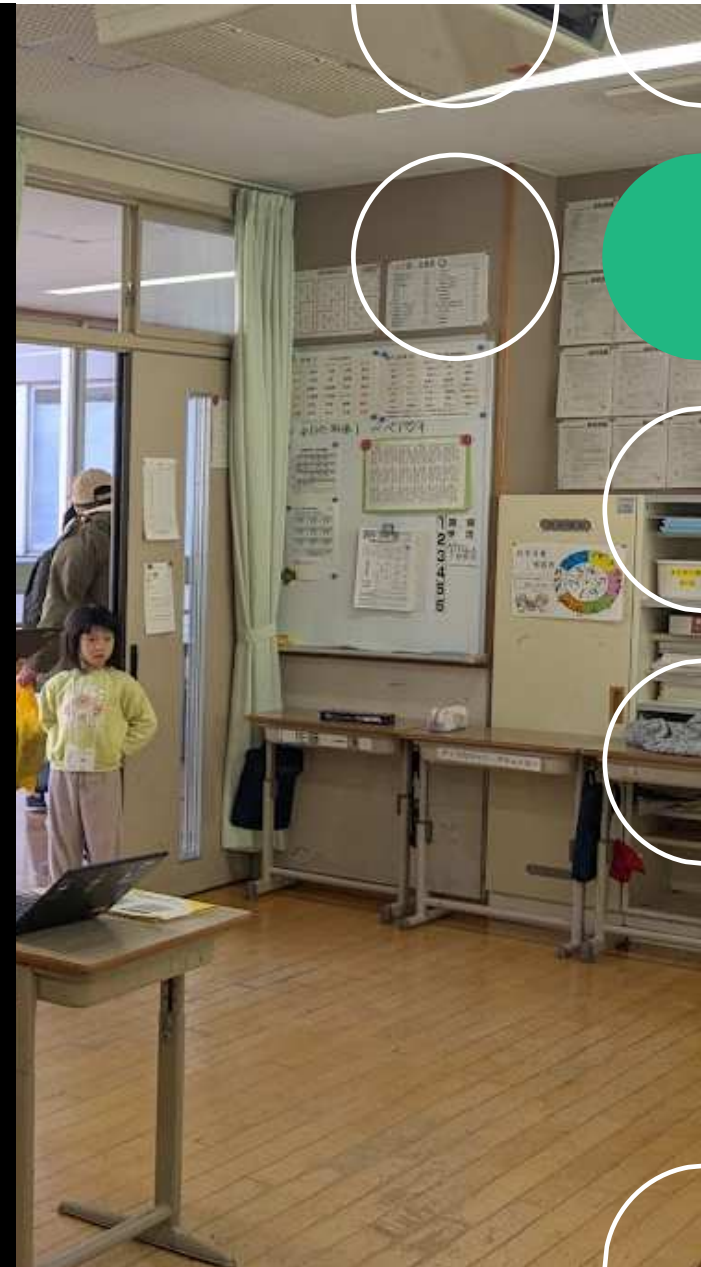


2024年度
防災教育チャレンジプラン
実践団体

防災学習発表会

2・4・6年

- ・ 12月13日（金）・14日（土）実施
 - ・ 各教室等を会場に、保護者や地域住民を招いてポスターセッション形式で実施
 - ・ 5人程度の学習グループを編成し、テーマ別の発表を行う
-



2年生 家庭や学校にある 災害対策を見つけて発表



こちが西新井ニュースの
なりました。



きた主な火災		
年	火災の名 前	死
	明暦の大火	107
	明和の大火	14
	千日デパート火災	1
	大洋デパート火災	1
	新橋ビル爆破	
	能登半島地震 による火災	2

4年生 火災・水害 地震災害

調べ学習をもとに
番組制作

6年生 グループでテーマ設定

- 1A「学校生活で地震が起きたとき、どのような行動をするか」
- 1B「公共交通機関を利用しているときの防災」
- 1C「異常気象が悪化したときに命を守るためには」
- 1D「災害によって身動きが取れない時の対処法」
- 1E「海外で災害にあったら、どのような対応をするか」
- 2A「1ヶ月以上の避難所生活の上手な過ごし方」
- 2B「西新井が少しでも水没しないですむためには」
- 2C「水害が起きた時にとる行動と課題」
- 2D「災害リスクの高い建物をどうすべきか」
- 2E「災害のときの外国人・障がい者の避難」
- 3A「地震でだれかを助けるためには」
- 3B「災害時、立場によって違う避難の工夫」
- 3C「水害『後』の課題と危険性」
- 3D「旅行中に地震が起きたら」
- 3E「親がいないとき、子供だけでどう避難するか」



ご協力 いただいた 団体等

-
- ・ 足立区役所災害対策課
-
- ・ 足立区環境政策課
-
- ・ 興野北町会
-
- ・ 西新井小学校避難所運営組織
-
- ・ 西新井消防署・消防団
-
- ・ 防災ネットワークプラン 井上 浩一 先生
-
- ・ (一社)福祉防災コミュニティ協会
-
- ・ 東武鉄道
-
- ・ セーブ・ザ・チルドレン
-
- ・ 避難所・避難生活学会
-
- ・ 東京都総務局総合防災部防災管理課
-
- ・ 外国人在留総合インフォメーションセンター
-



台灣台中市豐原區 葫蘆墩國小交流



防災巻を活用した地震対策
1月17日（金）実施

防災卷		災害發生前的情況	當地震導致大晃動時	當震動平息時.....	讓我們移動到避難地點
災難類型	我在哪裡？	周圍環境會是什麼樣子？	你周圍發生了什麼？	這個城市裡發生了什麼？	
大地震（7級）					
發生災害時					
2025年1月17日星期五					
下午 6：00	我在做什麼？	我該怎麼辦？	我該怎麼辦？	我該怎麼辦？	
發生災害時的位置					
疏散地點					
行動者的姓名					
當您到達避難地點時.....		這將是一個地方的夜晚.....（電車和巴士×）		那是第二天的早晨	
避難場所內部是什麼樣子的？		周圍環境會是什麼樣子？		我現在該怎麼辦？	

地震發生后
1
分鐘
「重要部分」

地震發生后
1
5
分鐘

通常步行 分鐘

防災卷台灣版を作成



事前に授業準備を共有

～写真は台湾側の打ち合わせ～

先生 (分享螢幕畫面)



オンラインで日本と台湾が
同時に学習に取り組む

活動を通して得た気づきを 日台の児童で共有





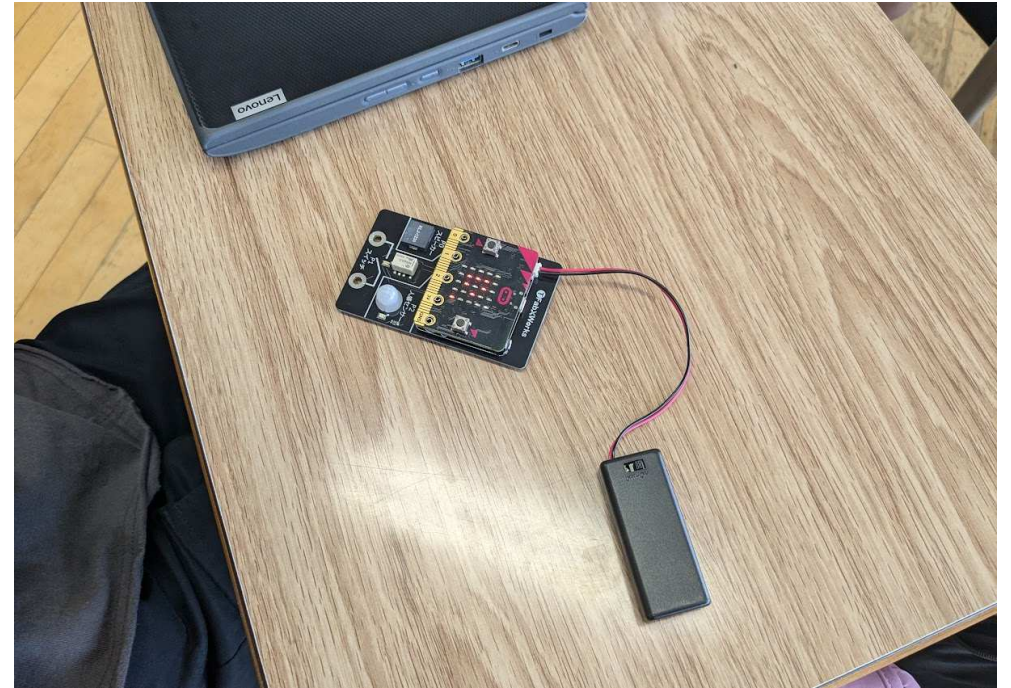
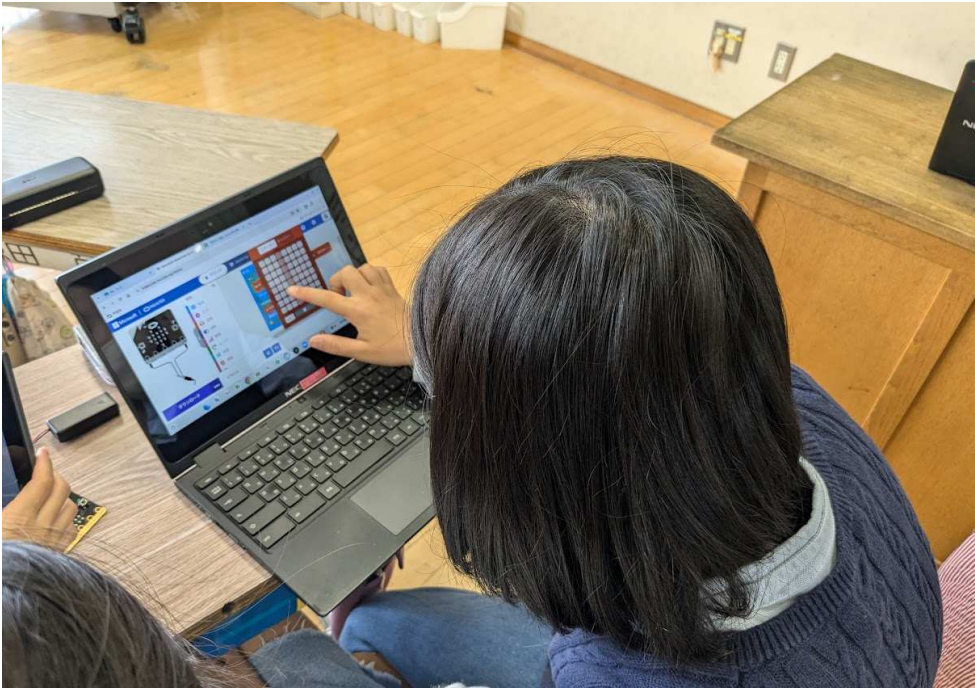
福祉×防災×プログラミング
＝？

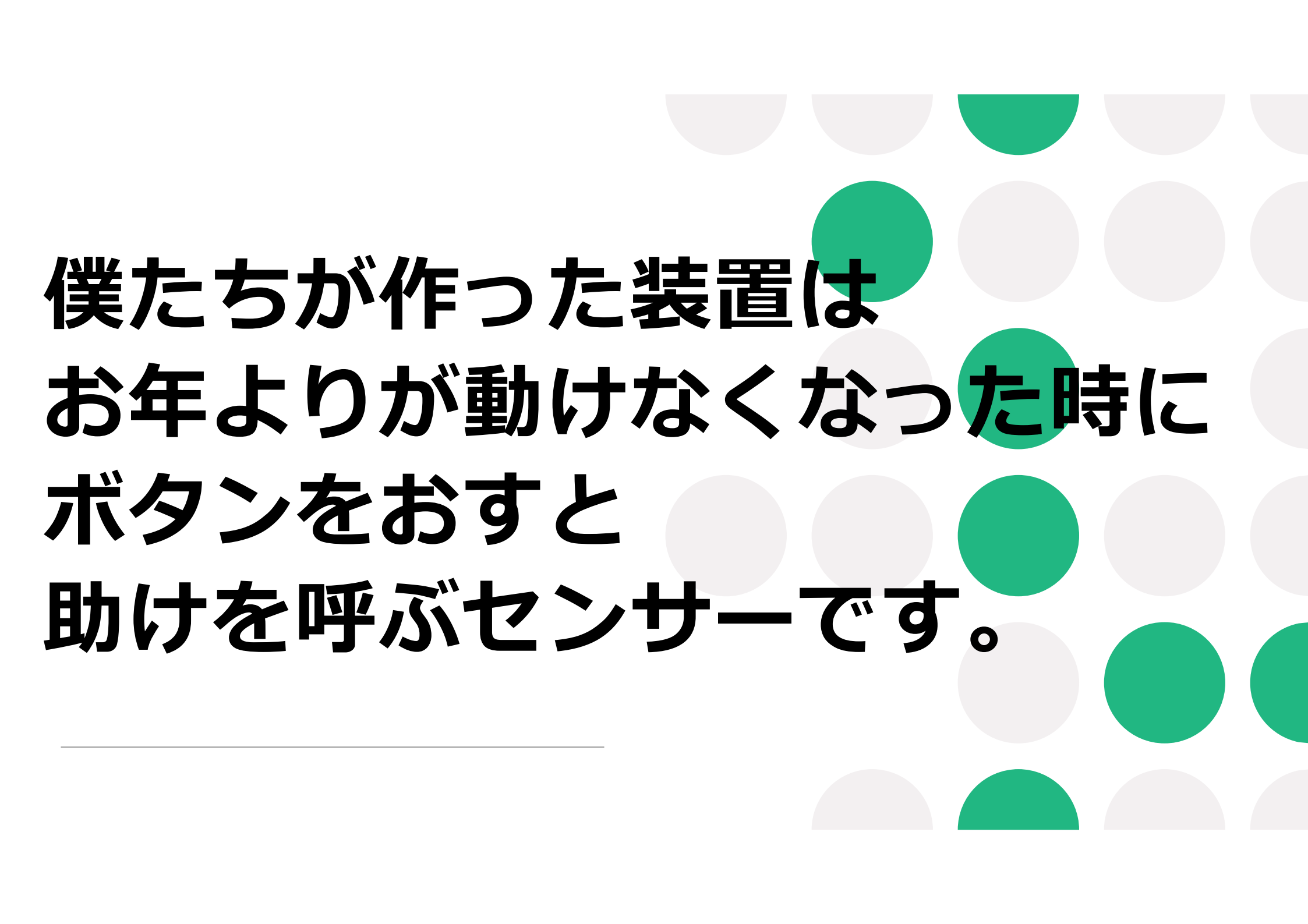
防災に役立つシステムを
プログラミングで考えよう



**防災学習を通して生まれたご縁がきっかけで…
～福祉防災コミュニティ協会様の出前授業～**

福祉×防災の観点から 役立つシステムを考えよう





僕たちが作った装置は
お年よりが動けなくなつた時に
ボタンをおすと
助けを呼ぶセンサーです。

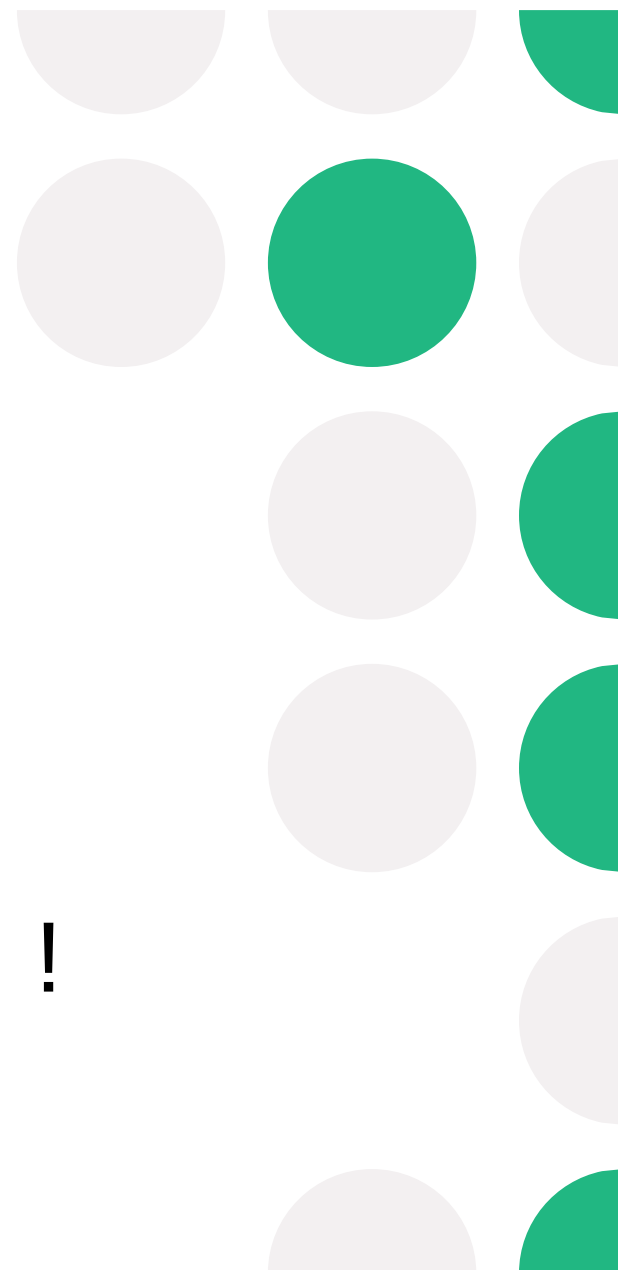
この装置による効果は

A ボタンをおすと

S o S とランプが光る！

B ボタンをおすと音が鳴る！

→発見した人が助けに来てくれる！





たくさん「チャレンジ」した2024年度… その成果と課題

【成果】

- ・ 学習発表、行動訓練、対外交流、制作活動…児童が「発信」する場面UP
⇒児童が主体的・意欲的に防災学習に取り組む姿が多く見られた。
 - ・ 保護者の参加機会を多く設定
⇒学校で行っている防災教育に対する関心UP、地域自治会との接点が生まれる
 - ・ 学校の教育活動の様々な場面に「防災」の視点をちりばめた
⇒本校のカリキュラムの「柱」として防災を設定できる可能性を見た。
次年度以降、継続する活動も残すことができた。
-

たくさん「チャレンジ」した2024年度… その成果と課題

【課題】

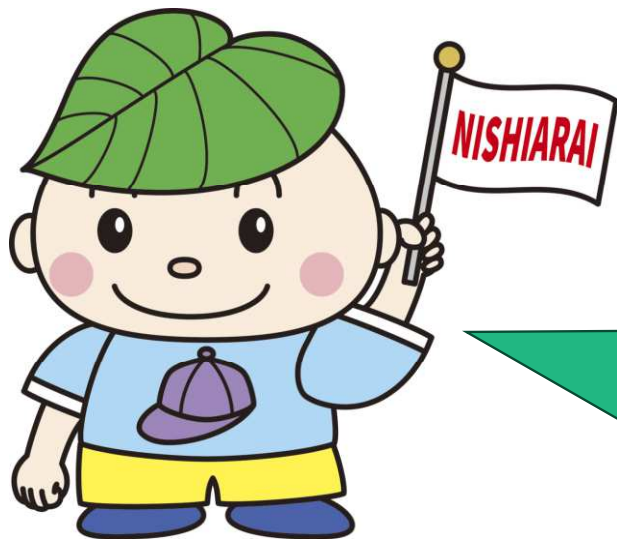
- ・年間を通して、防災に対する児童の変容を見取る手段の確立
⇒定期的なアンケート調査等の必要性
- ・保護者を防災教育に連れてくることはできた。その先は…
⇒地域・保護者・児童が一体となった防災行事の設定
- ・児童が学んだことや考えたことを広く対外に発信する機会の設定
⇒本校の強みであるICTを生かして、オンライン交流の拡大
足立区との連携をさらに深めることで

「児童によるさらに踏み込んだアクション」を生む。



今年度活動の機会を与えてくださった
防災教育チャレンジプランの皆様に
感謝します。

ご清聴ありがとうございました。



今年で終わりじゃないからね～。
東京という地域の特性を生かして
さらに防災教育を進めていきます！
これからもヨロシクね！